

平成 25 年度
度会ウィンドファーム事業に係る
環境影響評価事後調査報告書

平成 26 年 5 月

エコ・パワー株式会社

はじめに

本報告書は、度会ウインドファーム事業の実施にあたり、「度会ウインドファーム事業」に係る環境影響評価書（以下、「評価書」という。）に記載した事業調査計画に基づき、工事着工前に実施した調査結果についてとりまとめたものである。

目 次

第1章 事業の概要	1
1.1 事業者の名称、代表者の氏名及び主たる事務所の所在地	1
1.2 対象事業の名称、種類及び規模	1
1.3 対象事業実施区域	1
1.4 対象事業の進捗状況	1
1.5 環境影響評価に係る事後調査工程	1
1.6 調査委託機関	1
第2章 事後調査結果	4
2.1 水質（水の濁り）	4
2.1.1 簡易水道の表流水取水場上流	4
2.2 陸域植物（重要な植物）	14
2.3 生態系	22
2.3.1 上位性（クマタカ）	22
2.3.2 典型性（常緑広葉樹、落葉広葉樹、スギ・ヒノキ人工林）	28

第1章 事業の概要

1.1 事業者の名称、代表者の氏名及び主たる事務所の所在地

事業者の名称：エコ・パワー株式会社

代表者の氏名：代表取締役社長 周布 兼定

主たる事務所の所在地：東京都品川区大崎 1-6-1 TOC 大崎ビルディング 1号棟

1.2 対象事業の名称、種類及び規模

名称：度会ウインドファーム事業

種類：工場または事業場の新設または増設の事業

(※環境影響評価法における発電所の第1種事業（風力発電所1万kW以上）に該当)

規模：敷地面積：約37.77ha

改変面積：約47.49ha^{※1}

【内訳】	①風力発電機（25基）	: 10.57ha
	（基礎部：0.64ha、仮設工事部：9.93ha）	
	②電線路（鉄塔部）	: 0.65ha
	③変電設備	: 0.07ha
	④開閉設備、管理棟	: 変電設備の面積に含む
	⑤管理用道路	: 26.48ha
	⑥発電設備搬入用道路（林道拡幅）	: 9.72ha ^{※2}
	⑦造成森林用地	: 12.97ha ^{※3}

※1：改変面積は現在詳細検討中であり、ここでは評価書に記載した内容を示した。

※2：⑥については、既存の「広域基幹林道麻加江小萩線」を利用し、その一部を改変するため、改変面積には算入しているが、敷地面積には算入していない。

※3：⑦については、その面積を各項目に含む形で計上している。参考のため⑦へ必要面積を表記しているのみであり、敷地面積には計上していない。

風力発電所出力：50,000kW（単機出力2,000kW）

風力発電機の台数：25基

電線路の新設：度会橋連絡線（77kV）に連系

変電設備及び開閉設備の新設：各1箇所

1.3 対象事業実施区域

対象事業実施区域は、図1.1に示すとおり。

1.4 対象事業の進捗状況

平成26年3月末時点で事業には着手していない。平成26年7月を目処に着手予定である。

1.5 環境影響評価に係る事後調査工程

環境影響評価に係る事後調査工程は表1.1に示すとおり。

1.6 調査委託機関

事業者の名称：株式会社環境総合テクノス

代表者の氏名：代表取締役社長 中山 崇

主たる事務所の所在地：大阪府大阪市中央区安土町 1-3-5

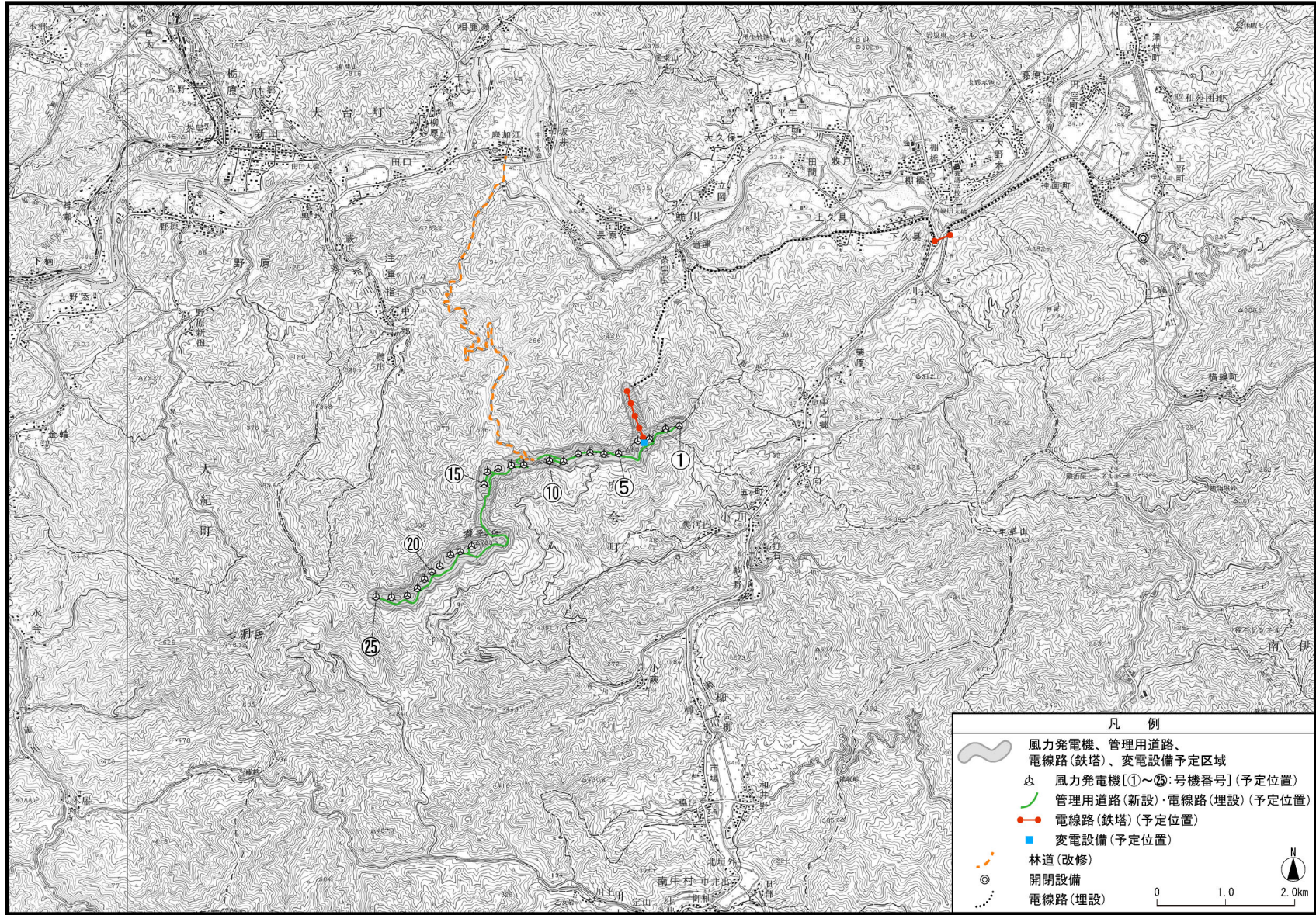


図 1.1 対象事業実施区域

表 1.1 環境影響評価に係る事後調査工程 「全体工程」

項目	工事前 H25年度												H26年度												工事中 H27年度												H28年度												供用時 H29年度												H30年度													
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
工事工程等	土木工事																																																																									
	電気工事																																																																									
	風力発電																																																																									
	運転																																																																									
騒音	環境騒音																																																																									
	低周波音	環境低周波音																																																																								
水質(濁り)	各風車設置位置沈砂マス出口																																																																									
	簡易水道の表流水取水場上流	工事前												工事期間中随時												工事期間中随時												工事期間中随時												工事期間中随時																								
事後調査工程	陸生動物	重要な動物 クログミ キビタキ オオルリ													繁殖期(4-7月)に3回												繁殖期(4-7月)に3回												繁殖期(4-7月)に3回												繁殖期(4-7月)に3回												【調査完了判断】 ・供用後1年程度実施し、繁殖示唆の場合											
		陸生植物	重要な植物	キンラン	移植検討調査												移植検討調査												モニタ												モニタ												【調査完了判断】 ・移植後2年程度実施し、開花が確認された場合。 ・有識者助言により、生育状態の変化が見られないと判断された場合。																					
	エビネ		移植検討調査												モニタ												モニタ												モニタ																																			
	ヒロハコンロンカ		移植検討調査												ヒロハコンロンカは、H25年度の調査により、確認される可能性が低いと考えられたことから、H26に再度調査し、確認された場合には適切に対処する予定																																																											
	カタクリ		移植検討調査												移植												モニタ												モニタ												モニタ																							
生態系	上位性	クマタカ													12-7月8回 繁殖した場合8-11月4回も実施												12-7月8回 繁殖した場合8-11月4回も実施												12-7月8回 繁殖した場合8-11月4回も実施												12-7月8回 繁殖した場合8-11月4回も実施												12-7月8回 繁殖した場合8-11月4回も実施											
	典型性	常緑広葉樹 落葉広葉樹 スギ・ヒノキ人工林	モニタ												モニタ												モニタ												モニタ												モニタ												モニタ											
	特殊性	カヤネズミ													モニタ												モニタ												モニタ												モニタ												【調査完了判断】 ・クマタカ:繁殖確認 ・植生:概ね植生に変化がみられない ・カヤネズミ:供用後1年											

注：工事工程等は予定であり、平成26年度以降の工程は工事工程等の進捗により変更となる可能性がある。